



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月20日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <http://www.jeansmate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西脇 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 砂田 真一 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 平成25年12月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年2月21日～平成25年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	7,180	△9.4	△565	—	△528	—	△640	—
25年2月期第3四半期	7,921	△4.5	△186	—	△157	—	△316	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年2月期第3四半期	△58.60		—					
25年2月期第3四半期	△29.00		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	7,863	5,457	69.4
25年2月期	7,993	6,093	76.2

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,457百万円 25年2月期 6,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,250	△6.1	△400	—	△370	—	△530	—	△48.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年2月期3Q	12,651,466株	25年2月期	12,651,466株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期3Q	1,724,353株	25年2月期	1,723,709株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年2月期3Q	10,927,432株	25年2月期3Q	10,928,119株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成25年2月21日から平成25年11月20日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策等により、企業収益が徐々に改善され、さらなる景気回復に期待が寄せられておりますが、消費税率の引き上げが決定されるなど個人消費を含めた先行きの不透明感は払拭できない状況にあります。

このような経営環境のもと、当社では業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、売上シェアの高いゴールデンウィークを中心に天候不順等もありTシャツやポロシャツ等の夏物商品の売上を伸ばすことができませんでした。また、下半期に入ってから冬物商品の立ち上がりが遅れ、防寒商品群をはじめとして全般的に厳しい状況にありました。そのような中、春と秋にキャンペーンを実施したシャツ類は順調に売上を伸ばすとともに機能素材のボトムス類も比較的堅調に推移したものの、全体を押し上げるまでには至りませんでした。

販売面といたしましては、メールによるクーポンをはじめとしたお買得情報等の配信を継続するとともに、新聞折込広告の再開やキャンペーン商品の新聞全面広告を実施するなど、お客様へのアプローチを拡大してまいりました。

出退店につきましては、JEANS MATE業態の取扱商品を絞り込んだ商業施設向け業態として立ち上げた「STREET(ストリート)」を2店舗出店し、退店は3店舗(「ワケあり本舗」2店舗、「Happy Door」1店舗)となったことにより当第3四半期会計期間末の総店舗数は99店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高71億80百万円(前年同四半期比9.4%減)、営業損失5億65百万円(前年同四半期は営業損失1億86百万円)、経常損失5億28百万円(前年同四半期は経常損失1億57百万円)、四半期純損失6億40百万円(前年同四半期は四半期純損失3億16百万円)となりました。

業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域(都道府県)
JEANS MATE	81店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 愛知 大阪 兵庫 広島 山口 福岡
ワケあり本舗	12店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫 福岡
Happy Door	3店舗	神奈川 栃木 広島
Blue Standard	1店舗	大阪
STREET	2店舗	千葉

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1億29百万円減少し、78億63百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ8億74百万円増加し、52億17百万円となりました。これは主に現金及び預金が5億19百万円減少しましたが、有価証券が8億25百万円増加、商品が4億73百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ10億4百万円減少し、26億45百万円となりました。これは主に投資有価証券が9億68百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ5億6百万円増加し、24億5百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ5億21百万円増加し、15億96百万円となりました。これは主に支払信託が1億34百万円減少しましたが、買掛金が6億36百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15百万円減少し、8億9百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ6億36百万円減少し、54億57百万円となりました。これは主に四半期純損失を6億40百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成25年9月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業損失1億59百万円、当期純損失2億97百万円となり、当第3四半期累計期間においても営業損失5億65百万円、四半期純損失6億40百万円となりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、商品力及び販売力の強化を中心に収益力の回復に取り組んでまいります。

① 品揃えの拡充

前事業年度より本格稼動したプライベートブランド「Blue Standard」(コアターゲット30～40歳代の男性)は堅調に推移していることから引き続き拡充していくとともに、20歳前後の男性向けブランドやこれまで未着手であった女性向けのブランド開発にも取り組み、他社との差別化や利益率の向上に努めてまいります。

② 売場の再構築

商品カテゴリーを明確にするとともに、店舗ごとの売場規模やお客様の特性などを再検証して、最適な売場づくりを追求してまいります。

③ 来店客数の回復

前事業年度の販促活動としてはファッション雑誌への出稿を中心に取り組んでまいりましたが、チラシ販促(新聞折込広告)の再開やソーシャルメディアの有効活用を引き続き検討し、客数の回復に努めてまいります。

④ ワケあり本舗業態の確立

ロープライス業態である当業態については、前事業年度より専門チームを組織化し、収益力のさらなる向上に取り組んでまいりました。引き続き、取扱商品の拡大や鮮度の向上等を目指しながら業態として確立できるよう努めてまいります。当第3四半期会計期間末で12店舗(他、短期契約店舗3店舗)となりました。

⑤ 新業態店舗の開発

これまで、マスマーケットに向けた「JEANS MATE」、ロープライス型の「ワケあり本舗」、女性の生活を楽しむ「Happy Door」を展開し、前事業年度にはプライベートブランドを中心にした商業施設向けショップ「Blue Standard」を立ち上げました。また、当第3四半期累計期間には「JEANS MATE」での取扱商品を絞り込んだ品揃えによる商業施設向けショップ「STREET(ストリート)」を2店舗出店させました。今後は当業態の動向を検証するとともに、商業施設向けを中心に新たな業態開発にも取り組んでまいります。

⑥ 不採算店の撤退促進

前事業年度では合計24店舗を閉鎖いたしました。引き続き店舗ごとの業績について検証を行い、将来性の乏しい店舗については撤退を促進し、経営資源を集中させてまいります。当第3四半期累計期間には3店舗を閉鎖いたしました。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,808	625,659
売掛金	126,436	214,200
有価証券	1,207,254	2,032,340
商品	1,727,342	2,200,478
その他	137,286	145,286
流動資産合計	4,343,128	5,217,965
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634,989	666,637
敷金及び保証金	2,009,829	1,973,869
長期未収入金	297,765	296,865
その他	5,230	4,942
貸倒引当金	△297,765	△296,865
投資その他の資産合計	3,650,049	2,645,449
固定資産合計	3,650,049	2,645,449
資産合計	7,993,178	7,863,415
負債の部		
流動負債		
支払信託	242,242	108,082
買掛金	171,085	807,277
賞与引当金	25,023	6,403
ポイント引当金	179,667	178,502
店舗閉鎖損失引当金	7,664	—
資産除去債務	6,127	16,834
その他	443,196	479,462
流動負債合計	1,075,008	1,596,563
固定負債		
資産除去債務	482,427	464,944
長期未払金	335,877	335,877
その他	5,940	8,409
固定負債合計	824,244	809,230
負債合計	1,899,252	2,405,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	3,215,101	2,574,745
自己株式	△1,259,600	△1,259,788
株主資本合計	6,096,747	5,456,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,822	1,417
評価・換算差額等合計	△2,822	1,417
純資産合計	6,093,925	5,457,621
負債純資産合計	7,993,178	7,863,415

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
売上高	7,921,979	7,180,783
売上原価	4,111,342	3,999,348
売上総利益	3,810,637	3,181,435
販売費及び一般管理費	3,997,488	3,746,480
営業損失(△)	△186,850	△565,045
営業外収益		
有価証券利息	24,223	22,144
為替差益	—	1,776
受取賃貸料	8,910	9,195
その他	16,189	12,560
営業外収益合計	49,323	45,676
営業外費用		
投資事業組合運用損	435	—
投資有価証券償還損	9,325	—
賃貸費用	8,910	8,910
その他	1,773	703
営業外費用合計	20,444	9,613
経常損失(△)	△157,971	△528,981
特別損失		
減損損失	98,702	79,493
店舗閉鎖損失	5,727	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18,386	—
特別損失合計	122,816	79,493
税引前四半期純損失(△)	△280,788	△608,475
住民税	36,085	31,880
四半期純損失(△)	△316,873	△640,355

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。